

平成21年3月期 決算説明資料



Listed Company 6488



平成21年3月期 決算概要

平成21年3月期の総括



「100年に1度」と表現される程の厳しい状況の中、米国に端を発する金融危機の影響が实体经济に波及し、急激な輸出の減少や為替変動などにより景気は急速に悪化しました。

売上高は新規子会社の連結効果がありましたものの、需要の減少の影響は大きく、前期比5%の減収となりました。

損益面では、原価低減や生産効率化により利益の確保に努めましたものの、売上高減少の影響は大きく、経常利益は減益となりましたが、当期純利益は前期比1.1%の増益となりました。

主な利益増加要因

為替変動(タイバーツ安)が追い風となったタイ生産子会社の業績好調

主な利益減少要因

売上高減少

積極的な新製品開発に係る研究開発費の増加

平成21年3月期の連結貸借対照表



You can believe in.

(単位:千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	5,967,512	5,892,336	△ 75,175
有形固定資産	1,707,990	1,630,627	△ 77,363
無形固定資産	114,375	183,139	68,763
投資その他資産	1,589,173	1,656,559	67,386
固定資産	3,411,539	3,470,326	58,786
資産合計	9,379,051	9,362,663	△ 16,388
流動負債	1,368,179	1,145,426	△ 222,752
固定負債	483,232	558,664	75,431
負債合計	1,851,411	1,704,090	△ 147,321
純資産合計	7,527,640	7,658,572	130,932
負債純資産合計	9,379,051	9,362,663	△ 16,388

平成21年3月期の連結損益計算書

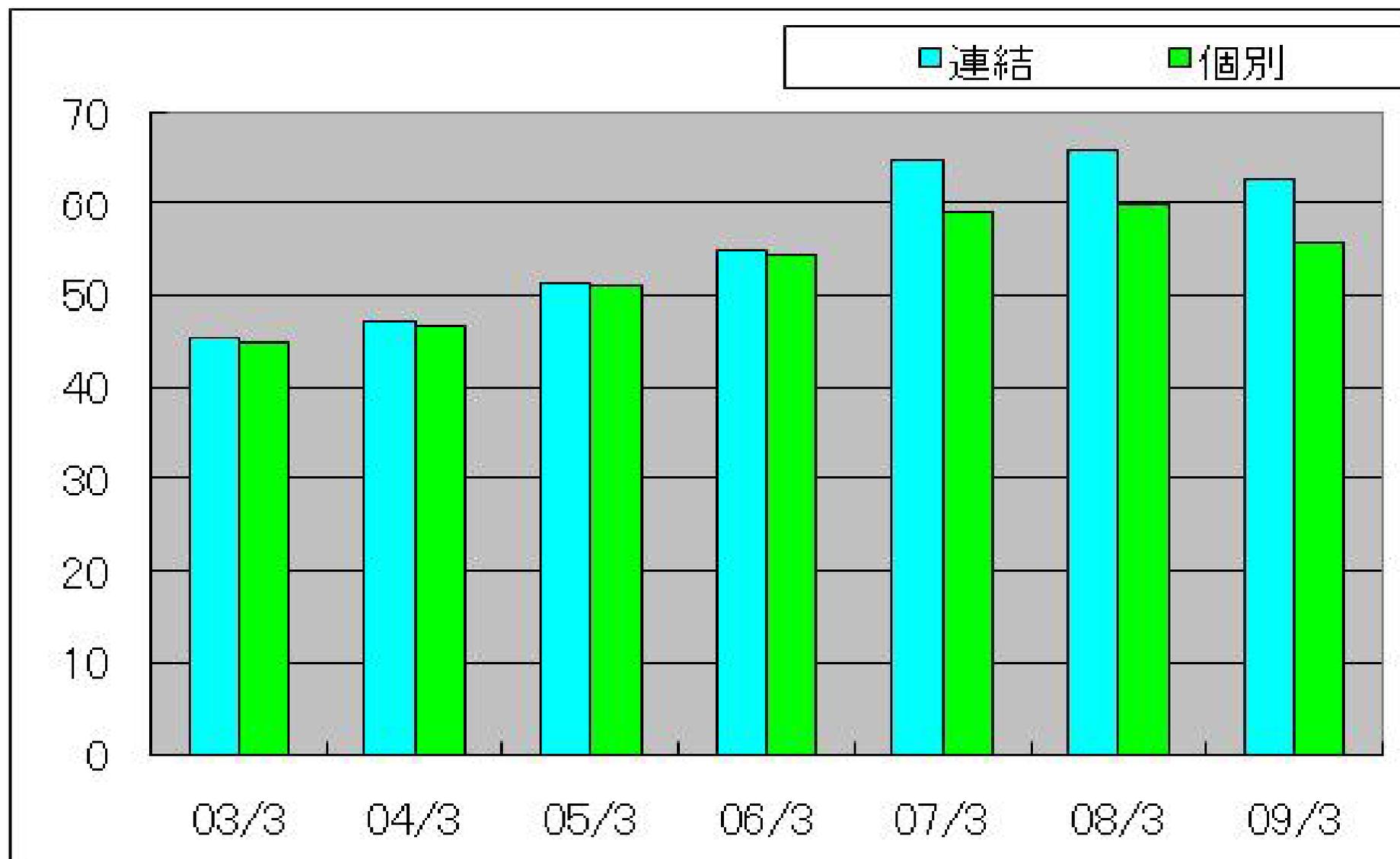


You can believe in.

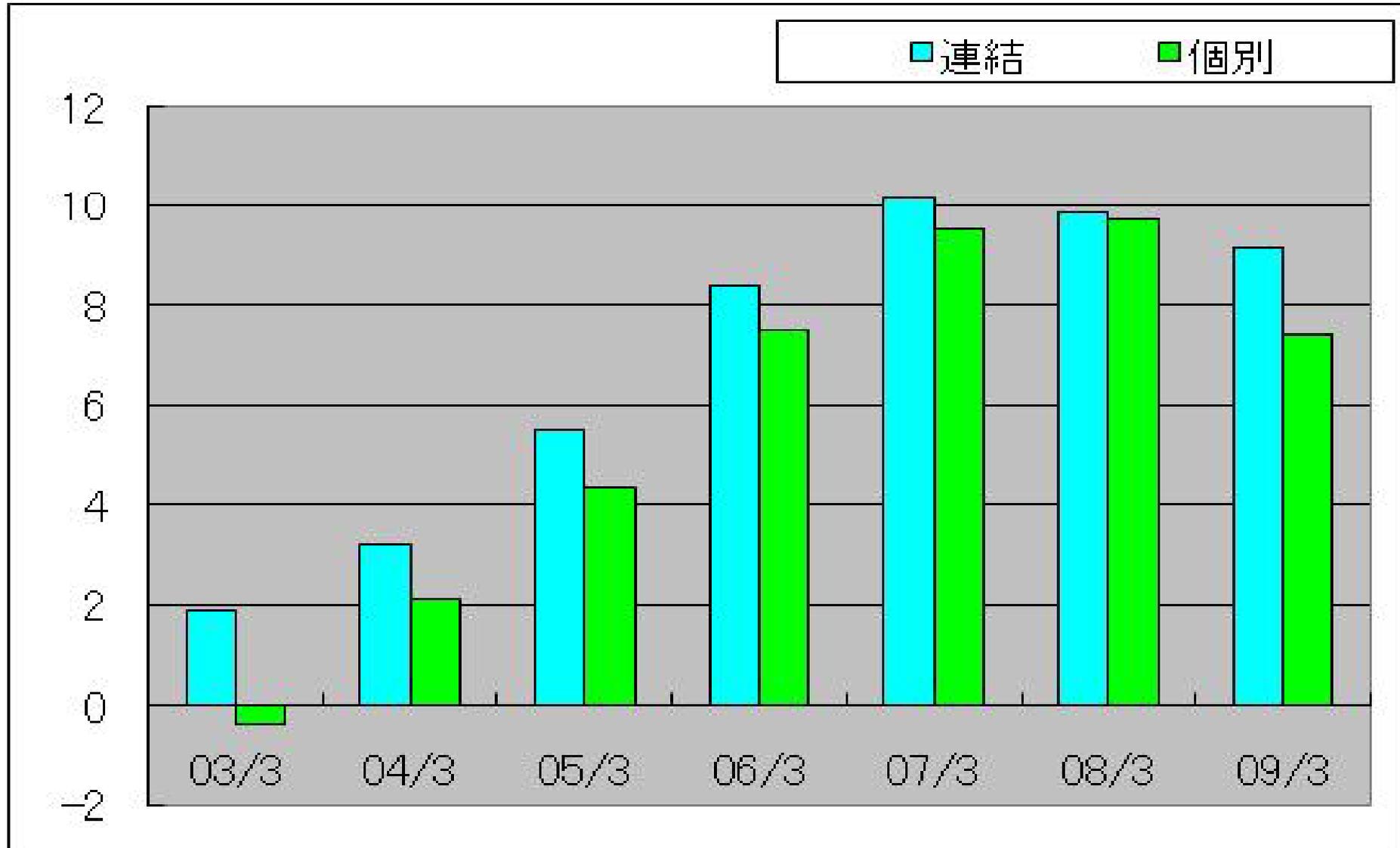
(単位:千円)

	前期	今期	増減額
売上高	6,597,867	6,271,267	△ 326,599
売上原価	3,787,369	3,481,080	△ 306,289
売上総利益	2,810,497	2,790,187	△ 20,309
販売費及び一般管理費	2,109,652	2,139,905	30,252
営業利益	700,844	650,281	△ 50,562
営業外収益合計	310,885	296,427	△ 14,457
営業外費用合計	25,926	30,761	4,834
経常利益	985,802	915,947	△ 69,855
特別利益合計	4,201		△ 4,201
特別損失合計	6,775	13,866	7,090
税金等調整前当期純利益	983,228	902,081	△ 81,147
法人税、住民税及び事業税	386,000	278,000	△ 108,000
法人税等調整額	△ 2,949	17,343	20,293
当期純利益	600,178	606,738	6,559

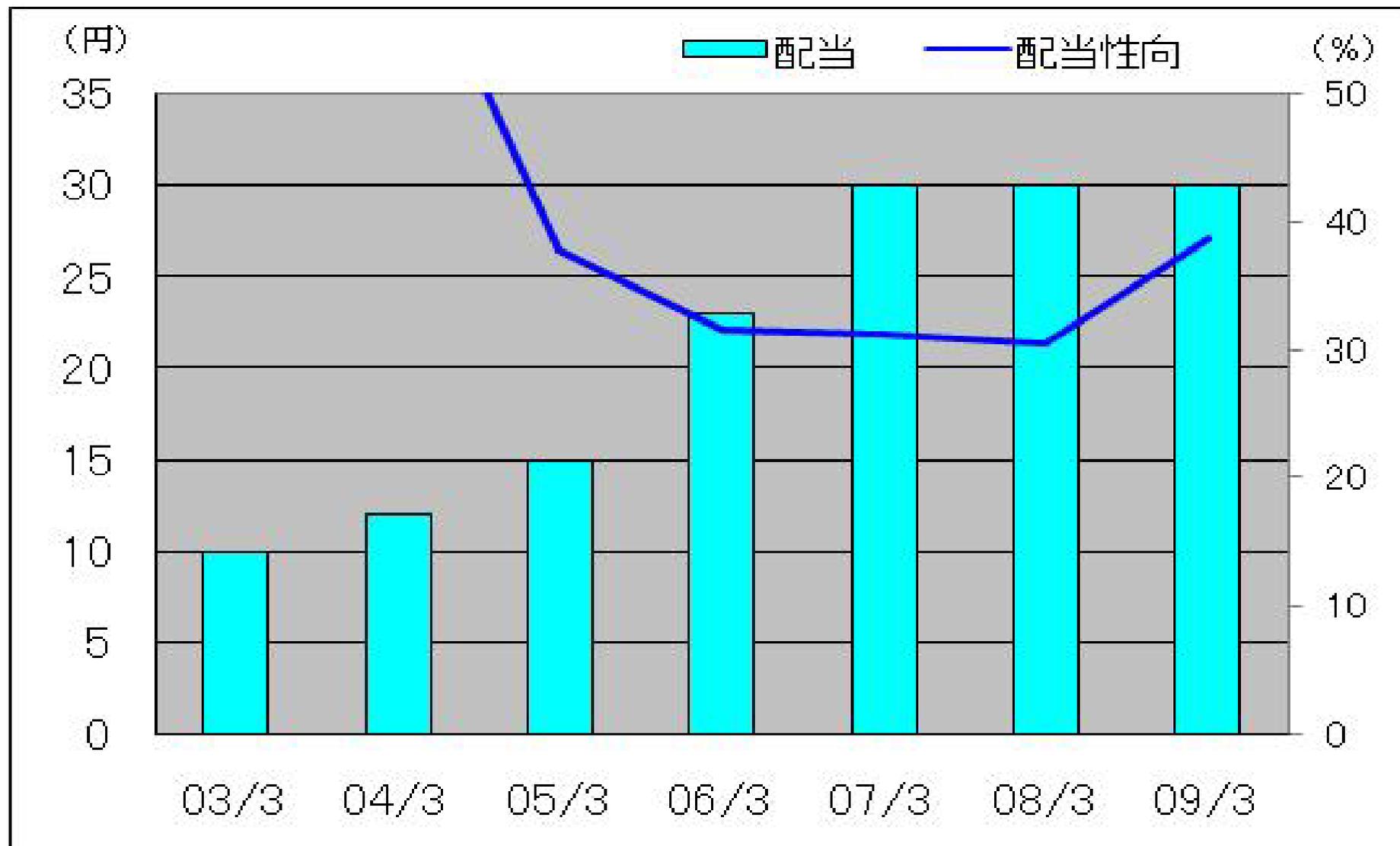
売上高の推移



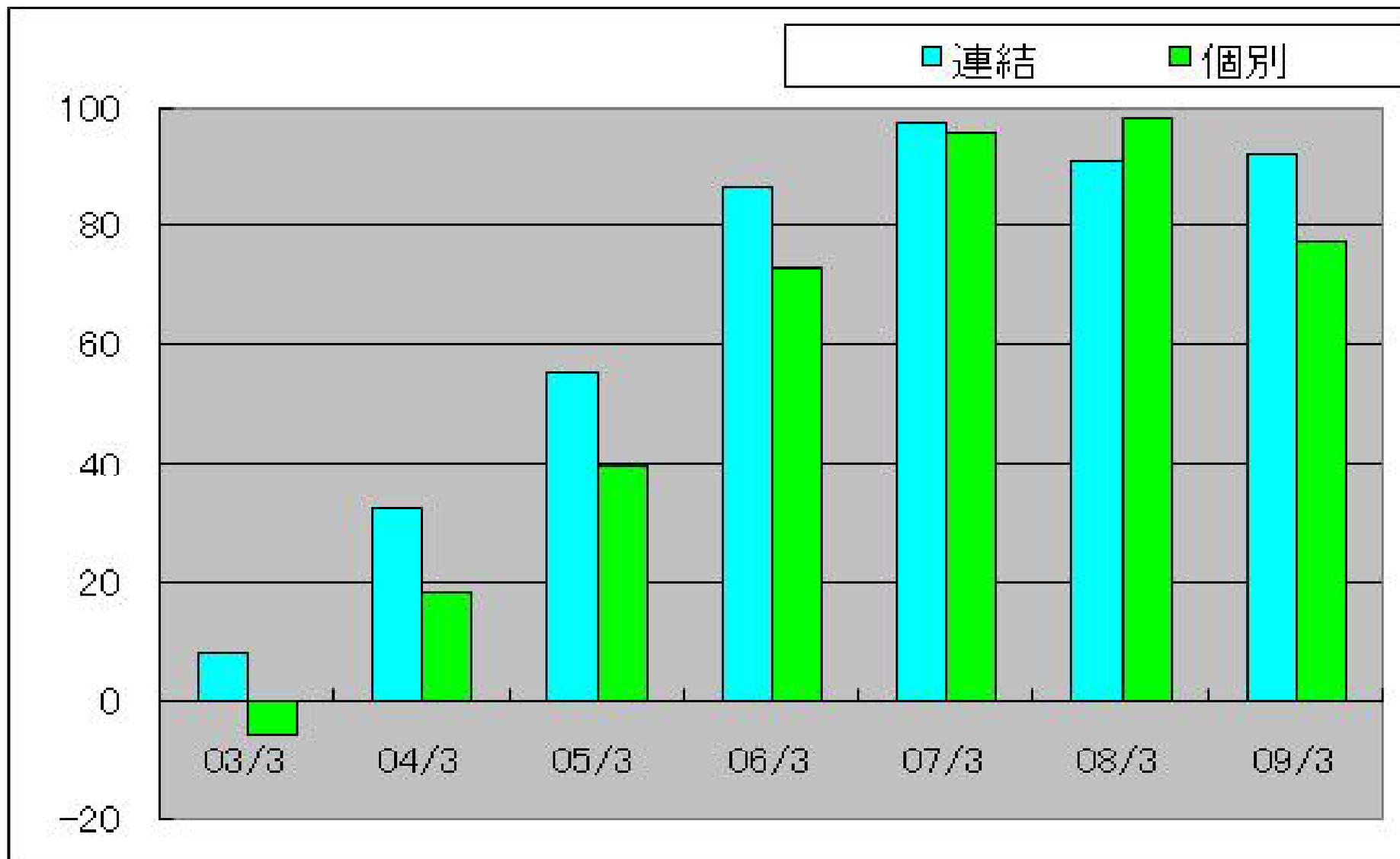
経常利益の推移



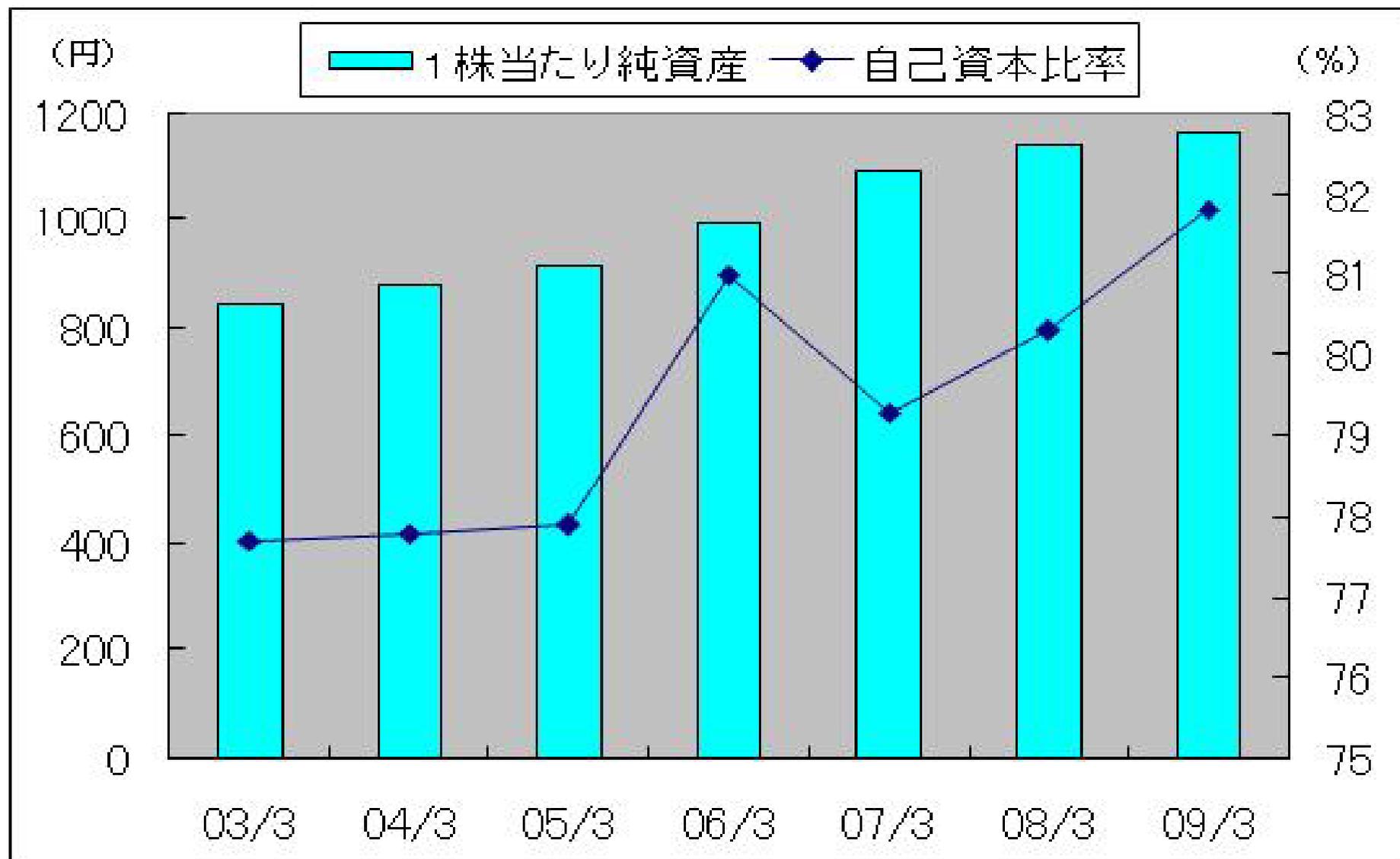
1株当たり配当の推移



1株当たりの当期純利益の推移



1株当たり純資産(連結)の推移



宏洋サンテック株式会社取得



事業範囲の拡大を目的として、発行済株式のすべてを取得し、100%子会社としました。

取 得：平成21年1月

事 業：ドイツGEMU社製コントロールバルブ
の輸入販売

本 社：東京都新宿区

資本金：10百万円



平成22年3月期 業績予想

平成22年3月期業績予想



(単位:千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	6,271,267	5,480,000	△ 791,267
営業利益	650,281	200,000	△ 450,281
経常利益	915,947	460,000	△ 455,947
税金等調整前当期純利益	902,081	460,000	△ 442,081
当期純利益	606,738	310,000	△ 296,738

平成22年3月期業績予想の概要



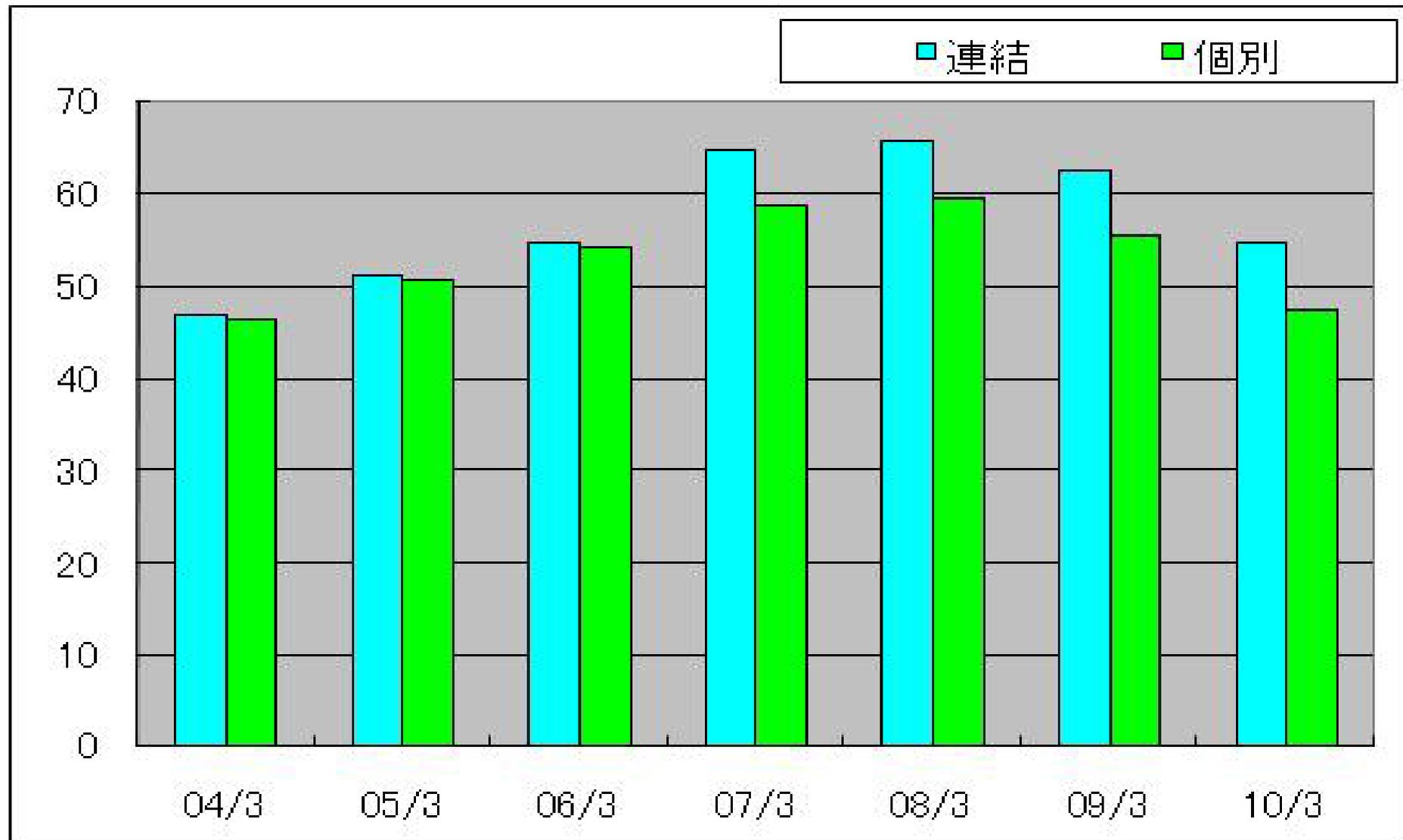
連結売上高：

当面は世界的な景気低迷が続くものと予測され、前年実績を下回る予想をしております。

経常利益、当期純利益：

更なる原価低減、生産の効率化、経費節減など利益の確保に向けた諸施策を推し進めておりますものの、売上高減収の影響は大きく、前年実績を下回ることを余儀なくされるものと予想しております。

売上高の推移



中期7年計画について



2005年4月に中長期7年計画を策定いたしました。
これは当社が今後も長期的で持続的な成長を続けられるよう目指すものであります。

この計画の骨子としましては次の4点を基本としております。

1. 新製品開発
2. 市場占有率の向上
3. 海外市場での販路拡大
4. 社内教育体制の強化

景気の影響は受けておりますが、おおむね順調に推移しております。

配当政策



当社は「株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつ」と考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当期の配当予想は、業績予想の結果を勘案し、1株当たり20(前期比10円減配)とさせていただきます。

企業理念



フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。
いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに
行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンス
はもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションを
お客様に提供することも、私たちが考えるフェアビ
ジネスの条件です。